



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場会社名 ソマール株式会社

上場取引所 東

コード番号 8152 URL <http://www.somar.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 曾谷 太

問合せ先責任者 (役職名) F&A部長

(氏名) 今井原 俊彦

TEL 03-3542-2152

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	17,956	0.5	△527	—	△483	—	△543	—
24年3月期第3四半期	17,868	△10.6	△59	—	△87	—	△204	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △531百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △531百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△27.97	—
24年3月期第3四半期	△10.53	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	%
25年3月期第3四半期	25,112	—	12,891	—	51.3	—
24年3月期	26,253	—	13,618	—	51.9	—

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 12,891百万円 24年3月期 13,618百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年3月期	—	5.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,920	2.0	△800	—	△850	—	△820	—	△42.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	19,587,349 株	24年3月期	19,587,349 株
25年3月期3Q	140,153 株	24年3月期	138,933 株
25年3月期3Q	19,447,654 株	24年3月期3Q	19,450,674 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 重要な後発事象 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要や9月まで続いたエコカー補助金等を背景に持ち直しの動きが見られましたが、欧州の債務危機問題や中国をはじめとする新興国での景気の減速傾向、更には、円高が長く続いてきた影響などで、依然として景気の先行き不透明な厳しい状況が続きました。

こうした状況下、当社グループは、関係業界における震災後の様々な事業環境変化に対して迅速に対応すべく、顧客との意思疎通に努め、更には、新興するアジア地域を主体とするグローバル市場での販売活動を加速させると共に、一方では、最適なサプライチェーンの観点からグローバルな生産体制の強化と効率化に継続して取組み、また、新規製品の開発にも鋭意努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高が179億5千6百万円（前年同四半期比0.5%増）となりました。利益面では、製造子会社ソマテック株式会社における初期投資の影響もあって、営業損失が5億2千7百万円（前年同四半期は営業損失5千9百万円）、経常損失が4億8千3百万円（前年同四半期は経常損失8千7百万円）、四半期純損失が5億4千3百万円（前年同四半期は四半期純損失2億4百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## [高機能材料事業]

高機能材料事業は、厳しい市場環境が続く中で、電子部品や自動車部品の業界が震災やタイでの洪水被害から立ち直りを見せたことを受け、関連製商品の販売が回復してきました。中でも、スマートフォンやタブレットPCの市場拡大を反映して関連需要が好調に推移し、当社のオリジナル開発製品などの販売が伸張しました。しかし一方では、震災後に生じた関係業界での様々な事業環境の変化が当社製商品に対する需要の減退をもたらし、減収となったアイテムも発生しました。その結果、当事業全体の売上高は127億9千万円（前年同四半期比1.7%増）となりましたが、利益面では当事業の強化に向けて実施したソマテック株式会社での初期投資の影響で、営業損失が4億6千4百万円（前年同四半期は営業利益5千2百万円）となりました。

## (主な製商品群の概況)

製商品群	概況（数値は前年同四半期との対比）
コーティング製品	電子・精密機器向け需要に濃淡が見られた中で、特に期の後半でスマートフォン、タブレットPC向け需要が好調に推移し、12.7%の増収となりました。
高機能樹脂製品	自動車部品向け需要がエコカー補助金効果の終息や日中問題で期の後半から弱含んだものの、海外生産拠点の体制整備も進み、6.1%の増収となりました。
電子材料	スマートフォン向け需要は好調に推移したものの、重電・自動車業界向け需要は震災後の需要構造変化を受けて落込み、1.5%の減収となりました。
機能性樹脂	電子回路基板や家電製品向け樹脂需要が、エコポイント制度の打切りや震災後の消費マインド停滞で低調に推移したため、6.5%の減収となりました。

## [環境材料事業]

環境材料事業は、関係する製紙業界で、国内の紙需要が漸減を続け、円高や輸入紙の増大といった要因も加わって製紙事業の合理化や再構築が進んでいるため、当社製商品の販売面でも競合が一段と進む厳しい状況が続いています。そうした中で、当期においては、震災で稼働停止となった製紙工場が順次生産を再開し始めたことを契機に、とりわけ当社独自の開発製品については拡販と新たな製紙分野への展開に努め、更には、拡大する中国市場の開拓にも鋭意取組んでまいりました。しかし一方では、製紙会社の合理化対策の結果として特に当社商品に対する需要がなくなり、当該商品の販売を大きく減少させる要因も発生しました。その結果、当事業全体の売上高は40億3千4百万円（前年同四半期比12.3%減）、営業損失が1千5百万円（前年同四半期は営業利益2千5百万円）となりました。

## (主な製商品群の概況)

製商品群	概況（数値は前年同四半期との対比）
ファインケミカルズ	製紙会社の減産と販売製品の競合激化が続く中、製紙各社の震災復旧に伴う需要の回復と独自製品の新たな需要開拓で、16.0%の増収となりました。
製紙用化学品	塗工紙の輸入増大と減産などで塗工用バインダーの需要が減少し、更に一部商品が販売終了した特殊要因も加わって、17.9%の減収となりました。

## [その他の事業]

その他の事業は、食品業界向けの食品材料が長引く個人消費の低迷や円高によるデフレ圧力で引続き厳しい状況が続く中、顧客ニーズに関わる幅広い情報収集に努めると共に、顧客に対するきめ細かなサービスの提供と拡販に継続して取り組んでまいりました。そうした中で、期の前半では特に天然の増粘安定剤が世界的な需給タイトな状況を背景に仕入価格の高騰が続いたため、仕入価格に対応した販売価格の改定にも努めました。一方、保存食品向けの食品材料は前年同期に見られた震災直後の特需がここにきて落ち着いてきたことから販売は減少傾向となりました。その結果、当事業全体の売上高は11億3千1百万円（前年同四半期比63.0%増）、営業利益は1億7千6百万円（前年同四半期比73.1%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は142億4千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億5千1百万円減少いたしました。これは主にたな卸資産が3億1千2百万円増加したものの、現金及び預金が7億7千5百万円減少したことによるものであります。固定資産は108億6千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億8千9百万円減少いたしました。これは主に建物及び構築物が1億9千3百万円、投資有価証券が1億7千9百万円、機械装置及び運搬具が1億6千3百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、251億1千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億4千1百万円減少いたしました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は52億5千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億3千9百万円減少いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が16億円減少したことによるものであります。固定負債は69億6千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億2千4百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が16億円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、122億2千万円となり、前連結会計年度末に比べ4億1千4百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は128億9千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億2千6百万円減少いたしました。これは主に為替換算調整勘定が2千万円増加したものの、利益剰余金が7億3千8百万円（5億4千3百万円の四半期純損失の計上、1億9千4百万円の剰余金の配当による減少）、その他有価証券評価差額金が3百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は51.3%（前連結会計年度末は51.9%）となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月5日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## 会計方針の変更

## (減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,033,003	4,257,225
受取手形及び売掛金	7,634,055	7,580,402
電子記録債権	—	38,610
たな卸資産	1,758,242	2,070,841
その他	376,377	301,754
貸倒引当金	△7,980	△6,310
流動資産合計	14,793,699	14,242,523
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,937,487	3,744,001
機械装置及び運搬具(純額)	2,165,045	2,001,201
土地	1,774,103	1,777,910
建設仮勘定	10,301	9,473
その他(純額)	150,748	128,146
有形固定資産合計	8,037,687	7,660,733
無形固定資産	271,229	227,132
投資その他の資産		
投資有価証券	1,776,103	1,596,625
その他	1,863,190	1,873,586
貸倒引当金	△488,352	△488,127
投資その他の資産合計	3,150,942	2,982,084
固定資産合計	11,459,859	10,869,949
資産合計	26,253,559	25,112,473
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,947,342	4,209,615
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	1,600,000	—
未払法人税等	20,969	23,781
賞与引当金	123,819	79,603
その他	1,105,363	544,993
流動負債合計	7,197,494	5,257,994
固定負債		
長期借入金	5,000,000	6,600,000
退職給付引当金	227,509	170,880
役員退職慰労引当金	42,367	49,317
資産除去債務	63,338	63,727
その他	104,835	78,709
固定負債合計	5,438,050	6,962,634
負債合計	12,635,545	12,220,629

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,115,224	5,115,224
資本剰余金	4,886,268	4,886,268
利益剰余金	3,988,494	3,250,066
自己株式	△45,672	△45,889
株主資本合計	13,944,314	13,205,669
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	139,796	136,297
繰延ヘッジ損益	6,182	1,588
為替換算調整勘定	△472,280	△451,712
その他の包括利益累計額合計	△326,301	△313,825
純資産合計	13,618,013	12,891,844
負債純資産合計	26,253,559	25,112,473

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	17,868,946	17,956,283
売上原価	15,845,442	16,045,188
売上総利益	2,023,503	1,911,095
販売費及び一般管理費	2,082,624	2,439,089
営業損失(△)	△59,120	△527,993
営業外収益		
受取利息	10,472	9,595
受取配当金	29,474	30,170
為替差益	—	50,445
その他	21,682	8,372
営業外収益合計	61,629	98,584
営業外費用		
支払利息	50,819	44,098
債権売却損	3,937	3,540
為替差損	32,864	—
その他	2,187	6,478
営業外費用合計	89,808	54,117
経常損失(△)	△87,298	△483,526
特別損失		
固定資産売却損	701	61
固定資産除却損	6,636	2,309
投資有価証券評価損	7,848	148,496
特別損失合計	15,185	150,867
税金等調整前四半期純損失(△)	△102,484	△634,394
法人税、住民税及び事業税	30,828	17,616
法人税等調整額	71,514	△108,061
法人税等合計	102,342	△90,445
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△204,827	△543,948
四半期純損失(△)	△204,827	△543,948



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△204,827	△543,948
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△97,727	△3,498
繰延ヘッジ損益	△1,807	△4,593
為替換算調整勘定	△227,524	20,568
その他の包括利益合計	△327,059	12,475
四半期包括利益	△531,886	△531,472
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△531,886	△531,472
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	高機能材料 事業	環境材料 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,572,663	4,602,521	17,175,185	693,760	17,868,946
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,572,663	4,602,521	17,175,185	693,760	17,868,946
セグメント利益又は損失(△)	52,559	25,419	77,979	101,701	179,680

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品関連素材の輸入販売等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	77,979
「その他」の区分の利益	101,701
全社費用(注)	△238,800
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△59,120

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	高機能材料 事業	環境材料 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,790,209	4,034,945	16,825,154	1,131,129	17,956,283
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,790,209	4,034,945	16,825,154	1,131,129	17,956,283
セグメント利益又は損失(△)	△464,094	△15,550	△479,644	176,038	△303,606

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品関連素材の輸入販売等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△479,644
「その他」の区分の利益	176,038
全社費用(注)	△224,387
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△527,993

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。